

# 7月は「社会を明るくする運動強調月間」 第66回社会を明るくする運動

～犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラ～

問合せ先  
子育て支援課  
児童家庭係  
☎72-2111  
内線474

「社会を明るくする運動」は、犯罪や非行の防止と罪を犯した人たちの更生について理解を深め、立ち直りについて考え、それぞれの立場で力を合わせて犯罪や非行のない地域社会を築くことを目的とした運動です。

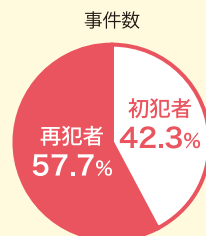
## 「更生保護」 って知っていますか？

### 安全な社会のため、犯罪や非行をした人の立ち直りを支える取組です

更生保護は、罪を償い、社会の一員として再出発しようとする人たちを指導・援助するなどしてその立ち直りを助け、再び犯罪や非行に陥るのを防いで地域の安全を守る制度です。

### 「立ち直りを支え、再犯を防ぐ」ことが地域の安全をまもります

日本での犯罪の約6割は再犯者によるものです。立ち直りを支え、再犯を防止することが地域の安全につながります。

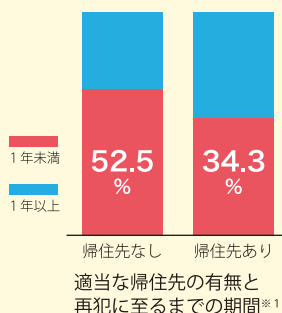


### 地域の安全をまもるには、「地域のチカラ」が必要です

罪を犯した人の立ち直りには、本人の努力はもちろんのこと、地域社会の中に彼らの「居場所」と「仕事」を確保し、地域との絆を保つことが重要です。「ここにいてもいい」という安心感と、「人の役に立っている」という自信が立ち直りを支えます。

#### 居場所づくり

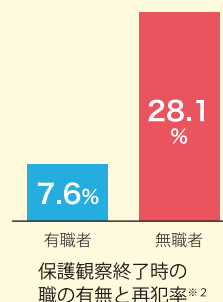
「おかえり」が大切  
帰る場所をつくり、「おかえり」と迎え入れることで社会からの孤立を防ぎ、再犯防止につながります。



※1 平成24年に刑務所などに再入所した受刑者

#### 「仕事」の確保

社会との「つながり」も大切  
仕事があることで、経済的に自立し、健全な社会の一員として地域社会と「つながる」ことができ、再犯防止につながります。



※2 平成21年～25年累計

## 立ち直りを支える 「地域のチカラ」

罪を犯した人が元々住んでいた街、その家族、取り巻く環境といった、個々の事情を良く知る地域の人々だからこそできることがあります。

実際にたくさんの方が関わり、立ち直ろうとする人を支えています。

安心・安全な社会を実現するには、こうした更生保護の取組が必要です。地域の皆様のご理解とご協力をお願いします。



更生保護マスコットキャラクター  
更生ペンギンのホゴちゃん